

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2022年7月15日現在

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2022年8月 3日(水)～ 5日(金)	2022年 3月21日(月)	2022年 5月30日(月)	第64回構造強度に関する講演会	奈良県 奈良市	日本機械学会 宇宙航空研究開発機構	構造強度部門	70巻3号 会告4頁
2022年9月 2日(金)			関西支部第483回航空宇宙懇談会 *オンライン開催			関西支部	70巻8号 会告3頁
2022年9月 4日(日)～ 9日(金)	2022年 2月10日(木)	2022年 7月1日(金)	第33回国際航空科学会議スウェーデン大会(ICAS2022)	スウェーデン, ストックホルム			
2022年9月 23日(金)～ 25日(日)			第18回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト	東京都 大田区	東京都大田区(予定), JAXA(宇宙航空研究開発機構)(予定), 特定非営利活動法人大田ビジネス創造協議会(OBK)(予定)	飛行ロボットコンテスト委員会	
2022年10月 12日(水)～ 14日(金)	2022年 5月13日(金)	2022年 7月15日(金)	The2022 Asia-Pasific International Symposium on Aerospace Technology (APISAT-2022)	新潟県 新潟市	CSAA, RAeS, KSAS	APISAT 連絡委員会	70巻5号 会告2頁
2022年10月 12日(水)～ 14日(金)	2022年 6月16日(木)	2022年 8月8日(月)	第60回飛行機シンポジウム*オンライン開催に変更の可能性があります。(7月頃にご案内)	新潟県 新潟市	日本航空技術協会	空気力学, 材料, 構造, 機器・電子情報システム, 飛行力学, 生産技術, 航空機設計, 特殊航空機, 回転翼航空機, 航空機運航・整備, 原動機・推進, 航空交通管理の12部門委員会	70巻5号 会告3頁
2022年11月 1日(火)～ 4日(金)	2022年 6月10日(金)	2022年 8月22日(月)	第66回宇宙科学技術連合講演会	熊本県 熊本市			70巻5号 会告4頁
2022年11月 10日(木)～ 11日(金)	2022年 8月12日(金)	2022年 10月7日(金)	西部支部講演会(2022)西部支部50周年記念フォーラム*オンライン開催			西部支部	70巻6号 会告5頁
2022年12月 3日(土)	2022年 9月23日(金)	2022年 10月24日(月)	第27回スカイスポーツシンポジウム講演会 *オンライン開催		日本航空協会		70巻7号 会告4頁
2023年3月 15日(水)～ 18日(土)	2022年 10月14日(金)	2022年 12月12日(月)	The11th Asia Joint Conference on Propulsion and Power (AJCPP2023)	石川県 金沢市	KSPE and CSET	原動機・推進部門委員会	
2023年6月 3日(土)～ 9日(金)	2022年 10月31日(月)	2023年 4月3日(月)	第34回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)	福岡県 久留米市	12回 NSAT	第34回 ISTS 組織委員会	

新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン開催になる場合もございます。ご来場前には、ホームページ等で開催のご確認下さい。
<https://www.jsass.or.jp/>

会員数(2022年6月現在)

概要	資格	正会員	学生会員	名誉会員	賛助会員(個人)	賛助会員(団体)
6月会員数		3308	1278	55		69
5月会員数		3318	1196	55	0	69
差引増減		-10	82	0		0

新入会員名簿賛助会員(団体)

(株)清原光学

新入会員名簿正会員(敬称略)

八子利佳(株式会社富士山), 黒木潤一(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ), 岸本浩彰(福井県工業技術センター), 深井稜汰(宇宙航空研究開発機構), 井上文宏(湘南工科大学), 林賢亮(宇宙航空研究開発機構), 李秦宜(九州大学), Atthaphon Ariyarit(東京大学), 横堀慎一(東京大学), 稲川智也(キャノン電子(株)), 森合秀樹(金沢工業大学), 原田大輔(日興道路(株)), 種市順平(三菱重工業(株)), 野呂拓臣(三菱電機株)

新入会員名簿学生会員(敬称略)

安藤文也(工学院大学院), 島田佳季(東京大学院), 伊藤優斗(九州大学院), 松寄大吾(日本大学), 小倉零韻(東海大学院), 遠藤祐太(東京大学院), 湯浦聡史(豊田工業大学), 廣田夏海(明石工業高等専門学校), 塚本悠太(横浜国立大学), 緒方友亮(東京大学院), 高橋琉佑(宇都宮大学), 望月友貴(東京大学院), 田中芳実(横浜国立大学), 岡田雄大(名古屋大学), 伊藤湧太郎(東京大学院), 志村潤則(埼玉工業大学院), 酒見蒼一郎(東京都立大学院), 仲原宏哉(横浜国立大学院), 二村和樹(横浜国立大学), 関根啓貴(東京大学), 三船力矢(久留米工業大学), 眞柄孝基(横浜国立大学), 坂口友大(名古屋大学院), 高嶋一輝(東京大学), 藤間一輝(東京大学院),

宮田周(青山学院大学), 山岸雅人(千葉大学), 上田滉也(大阪公立大学院), 東川宗嗣(法政大学院), 藤井愛実(早稲田大学), 豊田武晴(東京都立大学院), 郭樹俊(横浜国立大学院), 黒岩俊太郎(大阪公立大学), 小栗侑真(山梨大学院), 奈良拓実(防衛大学校), 浅野圭梧(東京理科大学), 筒井真輝(東京大学院), 三宅音緒(東京理科大学), 山本弦輝(東京理科大学), 山下舞子(東京理科大学), 岡山聖美(東京理科大学), 市川徹宏(久留米工業大学), 安田豊(名古屋大学院), 浮田大貴(名古屋大学), 大崎嵩友(名古屋大学院), 伊藤聡祐(東京農工大学), 相澤脩登(東京大学院), 加藤響平(東京大学), 平岡竜馬(東京理科大学), 伊藤淳之介(岐阜大学院), 山口宗生(九州大学), 岸田祐輔(法政大学院), 西沢諒亮(東京理科大学), 各務太郎(岐阜大学), 田畑寛(関西大学), 高木公貴(東京大学), 藤田剛輝(名古屋大学院), 柳原大輔(日本大学), 濱本瑞生(東京理科大学), 高山幸司(東京理科大学), 伊藤みひろ(東京理科大学), 藤本翔太(帝京大学), 工藤優太(帝京大学), 倉橋晴香(東北大学), 小西晃平(東京農工大学), 野本京佑(東北大学院), 板谷匠海(高知工科大学), 吉見郁哉(鳥取大学院), 弓野拓海(東京農工大学院), 上野泰河(東京農工大学院), 林雄亮(防衛大学校), 井田良輔(東北大学院), 仲野史人(鳥取大学院), 北波颯(九州大学院), 早部希(東京大学院), 庄子毅(豊田工業大学), 春門麗(東北大学), 茅野涼平(東北大学院), 吉川昂汰(工学院大学), 益野裕明(大阪公立大学院), 廣岡秀将(東海大学), 新井天(東京大学), 川原大毅(大阪公立大学), 比嘉良貴(豊田工業大学), 青山拓海(東北大学院), 西田拓矢(東京大学), 米山まうむ(大阪公立大学), 杉本秀真(帝京大学院), 金子颯汰(帝京大学), 山内義洋(大阪公立大学)

事務局より会員の皆様へお願い

◎ご転勤、ご転居その他、学会への届出事項に異動がありました場合はお忘れなく事務局宛ご連絡下さい。

学会ホームページ、会員ページ内WEB名簿よりご登録変更が可能です。また、ログイン方法が不明な会員は、事務局までメールまたは電話で、ご確認願います。

また、日本航空宇宙学会ホームページにて、学会主催講演会スケジュール、学会誌・論文集各種、各講演会講演集などいろいろな情報が掲載しておりますので、ぜひ閲覧頂ければ幸いです。

ログインができない等でアクセスが出来ない方、またホームページに関してのお問合せは下記迄お願い致します。

学会事務局 Tel:03-6262-5313 メール:shomu@jsass.or.jp

日本航空宇宙学会関西支部 第 483 回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会 関西支部

日時：2022 年 9 月 2 日(金曜日)15:00～17:00

会場：オンライン開催

備考：参加登録頂いた方にオンライン会議 (Zoom) の URL をメールで送付します。オンライン接続のための環境は参加者の方でご準備下さい。なお、オンライン会議 URL の他者への公開や、当日のオンライン会議の録画・撮影、音声の録音等の行為は禁止します。

講演 1

超小型衛星「ひろがり」が使命を終えて

香川大学 創造工学部
造形・メディアデザインコース
准教授 勝又 暢久

超小型人工衛星「ひろがり」は、大阪府立大学(現：大阪公立大学)と室蘭工業大学(講演者の前職)で共同開発された 2U サイズの衛星である。2021 年 2 月に打ち上げられ、同年 3 月に国際宇宙ステーションから放出された。その後、約 1 年間で各ミッションの遂行と運用を行い、2022 年 4 月に再突入して「ひろがり」は任務を全うした。講演者はミッション部開発を主に担当したことから、今回は「ひろがり」のミッション概要と実ミッションで得られた成果について報告する。具体的には、厚みが無視できない板構造をミウラ折りで収納した 2 次元展開板構造の展開ミッションと、軌道上で展開形状を得るための形状計測ミッションについて紹介する。

講演 2

大気圏突入機まわりの極超音速流れと輻射熱輸送の数値計算

高知工科大学 システム工学群
講師 荻野 要介

宇宙空間から地球へ降下するカプセル型の宇宙機は秒速 10km 程度の高速で大気圏に突入する。この時、カプセル前方の空気は強く圧縮されて高温なプラズマとなり、カプセルまわりは数万 K 程度の

過酷な加熱環境となる。そのためカプセルが溶融することなく地上まで帰還するためには、カプセル表面へ入射する対流と輻射による加熱率の精緻な数値予測が不可欠となる。圧縮性の強い流動場と空気プラズマ内部における化学反応や熱非平衡性、そして輻射による熱輸送といった物理過程を包含した支配方程式系に基づく数値解析が有効な手段となる。熱防護材の重量を軽減し、打ち上げ時に必要な燃料や搭載量などを含めた打ち上げコストを削減するためにも、より正確で高信頼な加熱率の解析手法が求められている。本講演ではこれまでにやってきた加熱率予測手法の開発と現状について紹介する。

参加費：無料

*参加は学会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝え下さい。

参加登録：①氏名 ②所属 ③役職 を 8 月 26 日(金)までに下記事務局までご連絡ください。

問合せ：

〒661-8666 兵庫県尼崎市塚口本町 8-6-1
三菱電機株式会社 先端技術総合研究所
メカトロ技術部内

日本航空宇宙学会 2022 年度関西支部事務局
<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>
TEL: 080-8942-3537 (吉河)

E-mail:

jsass-kansai@me.MitsubishiElectric.co.jp

【有料会告】

広島大学学術院（大学院先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログラム） 教員公募（教授）

1. 所属（配属）
広島大学学術院（大学院先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログラム）
2. 職名・人員
教授 1名
3. 採用予定年月日
2023年4月1日以降のできるだけ早い時期
4. 専門分野
理工学（輸送機器構造工学，構造設計，構造最適化）
5. 担当科目
 - (1) 教養教育科目：教養ゼミ，乗り物と輸送の科学 等
 - (2) 学部（専門教育科目）：材料力学，構造力学，弾性力学，構造解析・設計，数理最適化 等
 - (3) 大学院（博士課程前期）：有限要素法特論，輸送・環境システム特別演習A・B，輸送・環境システム特別研究 等
 - (4) 大学院（博士課程後期）：輸送・環境システム特別研究 等
 - (5) この他，教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目も担当することがあります。
6. 応募資格
次の要件をすべて満たす者
 - (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
 - (2) 博士課程後期の論文指導を担当できること。
 - (3) 大学院における博士課程前期・博士課程後期の論文指導経験を有すること。
 - (4) 日本語・英語による教育・研究指導ができること。
7. 応募書類
詳しい応募情報および応募書類は，以下のURLを参照ください。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/senshi>
8. 応募期限
2022年10月31日（月）17:00（日本標準時）（必着）
9. 選考方法
 - (1) 書類審査
 - (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は，原則として，英語による模擬授業を行います。ただし，交通費等は支給できませんので，あらかじめ御了承ください。
 - (3) 広島大学は，男女共同参画を推進しています。本学は，「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り，業績（研究業績，教育業績，社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
10. 応募書類送付先・問い合わせ先
〒739-8527 広島県東広島市鏡山 1-4-1
広島大学学術院（大学院先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログラム）
教授 濱田 邦裕
TEL:082-424-7772 FAX:082-422-7194
E-mail: hamada*hiroshima-u.ac.jp（*を@に置き換えてください）

第 62 回 航空原動機・宇宙推進講演会 (AJCPP2023) 講演募集

<https://branch.jsass.or.jp/ajcpp2023/>

主催 : 日本航空宇宙学会
共催 : 韓国推進工学会,
中国工程熱物理学会
協賛 : 日本機械学会,
日本ガスタービン学会,
日本航空技術協会
企画 : 日本航空宇宙学会
原動機・推進部門委員会
開催日 : 令和 5 年 3 月 15 日(水)~16 日(土)
講演会場 : 金沢市文化ホール, 石川県
(<https://www.bunka-h.gr.jp/>)
注)基本的に会場において実施する予定です。

開催趣旨: 本講演会は、航空及び宇宙関係の推進技術に関する国内最大の講演会として回を重ね、我が国の航空・宇宙推進技術の発展に寄与してまいりました。アジア地域における関連分野の交流が広がり、深まりを増すのに応え、近年は日本・韓国・中国の連合講演会 “Asian Joint Conference on Propulsion and Power : AJCPP” を隔年で開催しておりますが、今回お知らせする第 62 回講演会は日本が主催国となり、令和 5 年 3 月に石川県金沢市にて AJCPP2023 を以下の通り開催する運びとなりました。多くの皆様のご参加をいただければ幸いです。

講演内容: 航空原動機ならびに宇宙推進に関する分野はもとより、推進関連の基礎と応用を含めた広い分野からの応募を期待致します。今回は次のようなセッションを計画しています。

- (1) 航空機用エンジン
- (2) 極超音速推進 (ラム,スクラム,予冷ターボ)
- (3) 化学ロケット (液体,固体,ハイブリッド)
- (4) 電気推進・先端推進
- (5) マイクロ推進
- (6) パルスデトネーション
- (7) エネルギー利用
- (8) 流体・伝熱技術 (ターボ機械,ノズル)
- (9) 燃焼技術 (燃焼器)
- (10) 材料・構造技術
- (11) 計測・制御技術
- (12) 試験設備・運用・保守・信頼性
- (13) 一般

なお、講演分野はプログラム編成の都合上、ご希望の分野以外に変更させて頂くことがあります。

申込方法: AJCPP2023 ホームページ (<https://branch.jsass.or.jp/ajcpp2023/>) よりお申し込みください。ホームページをご覧いただけない場合は、E-mail にて ajcpp2023@jsass.or.jp までお問い合わせください。

申込締切: 令和 4 年 10 月 14 日

拡大抄録提出締切: 令和 4 年 12 月 12 日

審査 : 拡大抄録は当委員会で審査後、11 月 28 日までに申し込み受理通知を E-mail にて返信いたします。

講演集 : 原稿執筆要項は講演会ホームページをご覧ください。講演論文集に収録された著作物の著作権は、原則として、学会に帰属するものとします。

講演時間: 1 題につき 20 分 (討論 5 分を含む, 英語)

参加登録料:

・ 会員	35,000 円 (1/31 迄)	40,000 円
・ 非会員	40,000 円 (1/31 迄)	45,000 円
・ 学生会員	20,000 円 (1/31 迄)	25,000 円
・ 学生非会員	23,000 円 (1/31 迄)	28,000 円

備考 : 参加登録料には参加費、拡大抄録集、バック、懇親会、コーヒー等の費用を含みます。見学会 (ポストツアー) ご参加には、別途費用が必要です。講演会での公式言語は英語です。講演会の詳細、見学会の内容・参加費に関しては講演会 WEB ページおよび学会誌 1 月号又は 2 月号に掲載いたします。

本会共催・協賛・後援行事

第50回可視化情報シンポジウム

主催：可視化情報学会
期日：2022年8月8日(月)～10日(水)
会場：工学院大学新宿キャンパス（東京都新宿区西新宿1-24-2）

KISTEC教育講座 計算力学の基礎 ～有限要素解析の論理的把握が もたらす製品信頼性向上～

主催：神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）
期日：2022年8月15日(月)～26日(土)
会場：オンライン講座（Zoom利用）

混相流シンポジウム2022

主催：日本混相流学会
期日：2022年8月19日(金)～21日(日)
会場：東京海洋大学 越中島キャンパス（東京都江東区越中島2-1-6）

日本実験力学学会2022年度年次講演会

主催：日本実験力学学会
期日：2022年8月24日(水)～26日(金)
会場：鳥取大学湖山キャンパス（鳥取市湖山町南4-101）

No.22-84 講習会 「実験流体力学 流体計測の基礎」

主催：日本機械学会
期日：2022年8月29日(月)
会場：オンライン開催（Zoom利用）

ヒューマンインタフェース シンポジウム2022

主催：ヒューマンインタフェース学会
期日：2022年8月31日(水)～9月2日(金)
会場：関西大学

第18回アルミニウム合金国際会議 (ICAA18)

主催：軽金属学会
期日：2022年9月4日(日)～8日(木)
会場：富山国際会議場（富山市大手町1-2）、ANAクラウンプラザホテル富山（富山市大手町2-3）

Dynamics and Design Conference 2022

主催：日本機械学会
期日：2022年9月5日(月)～8日(木)
会場：秋田県立大学 本荘キャンパス（http://www.akita-pu.ac.jp/about/accs/acs_hnjo）

No.22-68 講習会 「『伝熱工学資料（改訂第5版）』の 内容を教材にした熱設計の基礎と応用」

主催：日本機械学会
期日：2022年9月8日(木)、9日(金)
会場：オンライン開催（Webex Meeting利用）

2022年度計算力学技術者 (CAE技術者) 資格認定事業

主催：日本機械学会
期日：2022年9月17日(土)～12月9日(金)

M&M 2022 材料力学カンファレンス

主催：日本機械学会
期日：2022年9月26日(月)～28日(水)
会場：弘前大学 文京町キャンパス

日本流体力学学会年会2022

主催：日本流体力学学会
期日：2022年9月27日(火)～29日(木)
会場：京都大学吉田キャンパス（京都市左京区吉田本町）

第8回材料WEEK

主催：日本材料学会
期日：2022年10月11日(火)～14日(金)
会場：京都テルサ（京都市南区東九条下殿田町70）

第50回日本ガスタービン学会 定期講演会

主催：日本ガスタービン学会
期日：2022年10月12日(水)、13日(木)
会場：九州大学医学部百年講堂（福岡市東区馬出3-1-1）

2022年度溶接工学専門講座

主催：溶接学会
期日：2022年10月12日(水)
会場：大阪大学医学・工学研究科東京ブランチ（東京都中央区日本橋本町2-3-11日本橋ライフサイエンスビルディング9階）

第7回接着適用技術者養成講座

主催：日本接着学会
期日：2022年10月25日(火)～11月2日(水)
会場：オンライン

2022年度溶接工学企画講座

主催：溶接学会
期日：2022年11月8日(火)
会場：大阪大学医学・工学研究科東京ブランチ（東京都中央区日本橋本町2-3-11日本橋ライフサイエンスビルディング9階）

ICFD2022 “Nineteenth International Conference of Flow Dynamics” (第19 回流動ダイナミクスに関する国際会議)

主催：東北大学流体科学研究所 ICFD 実行委員会
期日：2022年11月9日(水)～11日(金)
会場：ハイブリッド会議

軽金属学会第143回秋季大会

主催：軽金属学会
期日：2022年11月11日(金)～13日(日)
会場：東京工業大学 大岡山キャンパス

第14回最適化シンポジウム2022 (OPTIS2022)

主催：日本機械学会
期日：2022年11月12日(土)、13日(日)
会場：名古屋大学（東山キャンパスIB電子情報館）

第33回太陽光発電国際会議(PVSEC-33)

主催：日本太陽光発電学会
期日：2022年11月13日(日)～18日(金)
会場：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市熱田区熱田西町1-1）

Joint Symposium



The 34th ISTS

& 12th NSAT
Nano-Satellite Symposium

International Symposium on
Space Technology and Science



June 3-9, 2023
Kurume City Plaza
Kurume, Fukuoka, Japan

“Kurume in Fukuoka : Space for All of Us”

Call for Papers

Second Announcement

Abstract Submission on line at
<https://ists.ne.jp/>

Abstract Deadline : October 31, 2022



Synopsis

The 34th ISTS Organizing Committee and the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences (JSASS) would like to invite individuals of all nations interested in space-related activities to participate in this event. The 34th ISTS will be held under the main theme of “Space for All of Us”. We are also very glad to hold together 12th Nano-Satellite Symposium(NSAT) jointly with ISTS. Please join us at this event in Kurume, Fukuoka.

Venue

The Perfect Balance between City and Countryside Kurume is a medium-sized city in Fukuoka Prefecture, Japan. Located 30 minutes by local train (17minutes by Shinkansen) and less than an hour by car from Fukuoka City, Kurume is a transportation hub for southern Fukuoka Prefecture. Why not take advantage of this convenient access to pick fruit year-round and be healed by Kurume's bountiful nature and beautiful flowers? The blessings of nature have also produced a diverse food culture here. For example, Kurume is the birthplace of tonkotsu (pork-bone broth) ramen and is known for its abundant array of ingredients for yakitori (grilled meat on a stick). With sake breweries that are attracting attention around the world, Kurume is satisfying the appetites of visitors within and beyond Japan. Kurume is also known as “the birthplace of rubber Industry”. For more <https://welcome-kurume.com/en/>

Sessions

◆ Plenary Special Programs after the Opening Ceremony

- Special Program 1: World Space Activities
- Special Program 2: TBD

◆ Organized Sessions (TBD)

◆ Technical Sessions

- a) Chemical Propulsion and Air-breathing Engines
- b) Electric and Advanced Propulsion
- c) Materials and Structures
- d) Astrodynamics, Navigation Guidance and Control
- e) Fluid Dynamics and Aerothermodynamics
- f) Small Satellite : Joint session with 10th NSAT
- g) Space Transportation
- h) Microgravity Sciences and Technology
- i) Thermal Control
- j) Satellite Communications, Broadcasting and Navigation
- k) Science and Technology for Human and Robotic Space Exploration
- m) Sounding Rocket, Balloon and Flight Experiment using Small Flight Vehicle
- n) Earth Observation
- q) Space Power Systems
- r) Space Environment and Debris
- t) Systems Engineering and Information Technology
- u) Space Education and Outreach for the Benefit of All People
- v) Space Law, Policy and History
- w) Safety and Mission Assurance

◆ Student Session

Special prizes will be awarded for meritorious papers.

◆ Poster Session

◆ Cultural Night (TBD)

◆ Spacecraft Control System Design Contest

Awards are given to the upper players of outstanding control algorithms.

Registration Fee

Early Registration	60,000 yen
On-site Registration	75,000 yen
Early Student (ID Required)	15,000 yen
On-site Student (ID Required)	25,000 yen
Accompanying Person	10,000 yen

Pre-registration will be available on the web. Instruction and further information for electronic and on-site registration will be given in the final announcement. Fees for regular and student participants include On-site Digital Medium, which will include all the papers presented at the Symposium. Participants who are not pre-registered will be unable to give a presentation. Please be aware that only the regular and the student participants will be allowed to present a technical paper at the Symposium. Accompanying persons cannot attend any technical sessions.

Paper Distribution

All the papers presented at the 34th ISTS will be distributed on a paper download web site for convenience of all the regular and student participants. They are also will be open to public through the ISTS Web Paper Archives Site after the symposium.

Scholarship Program

The 34th ISTS will offer scholarship for limited number of students who are not Japanese citizens and live outside of Japan at the time of application.

Important Dates

Online Abstract Submission Open	Sep.3, 2022
Deadline for Abstract	Oct. 31, 2022
Special Deadline for Paper Upload only for Student Session	Feb. 1, 2023
Notification of Acceptance for All authors	End of Dec, 2022
Notification of Presentation Schedule for All Authors	
Notification of Selection Results for Student Session	
Second Announcement and Tentative Program Issue	March. 1, 2023
Online Pre-registration Open	
Online Paper Submission Open	
Deadline for Paper Upload	April.30, 2023
Deadline for Pre-Registration	TBD

Note: The author, who has not uploaded the paper by the deadline, is NOT allowed to make a presentation under the “No Paper, No Presentation” policy.